

新春ギター名曲コンサート

芳志戸幹雄 ギター リサイタル

1月23日(月)7:00/中原会館



今静かなる感動の夜明け

紙ふうせん



今、たしかな音楽をもとめて……川崎芳志戸 芳志戸幹雄 ギターリサイタル

1月23日(月)7:00開演/中原会館
*この券は当日、5時30分より座席券と取り換えます。
川崎勤労者音楽協議会/川崎市山崎区砂子1-1-1追川ビル4F 2044-233-9168(代)

コンサート

- プログラムより
- 放浪者の子守唄
- いかつり唄
- へい
- ささぶね
- P・P・Mメドレー
- わらべ唄
- 赤い花・白い花
- 別れの鐘
- 昭和戻り橋
- 塾なんか行かない
- 少年の目
- 雨
- ほほずき
- 町を走りぬけて
- 冬がくる前に
- もう一度帰ろう
- ぼくらはいつでも
- 陽気でいたい
- 紙ふうせん

えに

た。現の承

在ビットしている「冬がくる前に」は、一転、ポップス色の強い、明るいリズムである。明るい歌がピツパリの2人は、最高にのっている。ひたむきに歌いつづける、彼等2人の胸に脈打っている「何か」がひとつの世界となつて揺がり始めているかのような、明るいリズムでさわやかな歌が、ほらきこえます。

※くり返し

冬が来る前に 作詞・後藤忠生 作曲

坂の細い道を 夏の雨にうたれ
言葉さがし続けて 別れた一人
小麦色に焼けた 肌は色もあせて
蒼蒼とした一人 海を見るの

※冬が来る前に

もつ一度あの人とめぐり逢いたい
※くり返し

秋の風が吹いて、街はコスモス色
あなたからの便り 風に届くの
落葉つもる道は、夏の想い出
今日もわたし一人 バスを待つ
※くり返し

開演のまえに

前回アランフェス協奏曲で、圧倒的な好評と絶賛を浴びた若きギタリスト芳志戸幹雄。今回は、南米音楽史上最大の作曲家といわれるビラロボスの「5つのプレリュードからNo.1、No.3、No.4」を、演奏します。

また芳志戸幹雄の楽しいおしゃべりでプログラムは進められます。人々の耳に慣れているこれらの曲をギター芸術最高峰の芳志戸幹雄が、どういう魅力を吹き込むのかノ期待されます。日本で定着している彼は世界にも、はばたいで、素晴らしい、ギター曲を世界の人々に感動を与えにちがいない。さあ開演です。

- プログラムより
- 芳志戸幹雄編
- イタリアルネッサンス期の4つの小品
- 芳志戸幹雄編
- ドイツルネッサンス期の5つの小品
- モムポー
- コムポステラ組曲(全曲)
- ピアノ
- 唄と踊り第1番
- ダウランド
- イギリスルネッサンス期の2つの舞曲
- アルベニス
- マラゲーニャ作品165
- アストウリアス
- ピラニロボス
- プレリウド第4番
- 第1番
- 第3番
- エチュード第11番
- 第12番